

学校経営方針(中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
1 地域の人々の協力のもと、地域に根ざした学校づくりを進める。 2 豊かで逞しい心をはぐき、基礎学力の充実など、生涯にわたる学習の基盤を培い、「生きる力」を育成する。	・学校としての取組や未実施の内容が明確となり、改善点が具体的に把握できた。 ・学校経営改善へ結ぶための評価の意識の向上 ・実践の点検・検証の機会のより適切な設定	1 地域の中学生在が行きたい、保護者が行かせたい学校を全教職員で創りあげる。 2 生徒数減少を踏まえ、郡内生徒の教育の保障とともに、郡外から目的意識を持った生徒を入学させる。 3 広報活動を積極的にを行い、中学生及び地域の人々の本校教育活動への理解を一層深める。 4 特色ある部活動の育成と推進を図る。 5 全教職員が共通理解・認識をもって学校運営を行う。教職員の合意形成は既成や固定の概念にとらわれることなく工夫改善し、生徒と接する時間を確保する。 6 教職員個々の長所を最大限に生かす学校運営を目指すとともに、チームワークによって勤務時間の偏りをなくし、教職員と家族の心身の健康を保持する。

評価領域	重点目標	具体的方策	総合評価			成果と課題
			A	B	C	
組織・運営	学校教育目標の具現化に努める。	教科担当者は、常に教科の取組の進捗状況を点検・把握する。 分掌担当者は、常に分掌の取組の進捗状況を点検・把握する。 部長会議の内容を、全教職員に周知徹底させる。	A	A	A	機会を捉えた啓発により、教育目標を踏まえた組織的な取組の点検改善と組織的運営の重要性を意識させることができた。 教科主任会で次年度の取組を具体化 意見交換を通じてよりよい決定を図れた。 教科による改善意識の差の是正
	組織体制を確立する。	教科内で点検・検討されたことを教科会議・部長会議に報告する。 分掌内で点検・検討されたことを部長会議に報告する。 部長会議の報告を受け、検討された結果を教科会議に生かす。 各部の連携・調整を進めるため部長会議を十分機能させる。	A	A	B	
教育課程	生徒及び地域の実態を踏まえ、学校の特色を生かした教育課程を編成する。	学科・類・類型別等に応じた特色ある教育課程を編成する。 生徒の多様な進路希望の実現に向けた教育課程を編成する。 前年度や前学期の評価・反省に基づく改善を行う。 適切な教育課程になっているか、常に点検をする。	A	B	B	小規模校だが特色ある取組を展開 類・類型の指導内容等の点検改善
教科指導	各教科の目標を明確にし、計画的な指導を行う。	年間計画に基づき、計画的に指導を行う。 常に、生徒の興味・関心を深める指導を工夫する。 指導内容の精選と重点化を図る。	A	B	B	次年度に向けたシラバス作成終了 作品や実習内容の精選、完成度を高める。 年間指導計画の学期毎の見なおしが課題 生徒による授業評価を実施 家庭学習の習慣化の工夫
	学力の充実・向上	各学期末毎に年間指導計画の点検を行い、必要に応じて随時見直す。 常に、生徒の理解度を把握して指導する。 学習習慣を確立させるための手立てを講じる。	C	B	B	
特別活動	ホームルーム活動を充実させる。	学年間や分掌・教科間との連絡・調整を図り、効果的なホームルーム経営を行う。 生徒にとって不可欠なホームルームとして機能させる。	B	B	B	副担任の活用必要 学年としてH R活動を工夫している。 学年間や教科との連携の充実必要 災害復旧や病院訪問等に自主参加する生徒やクラスが出てきた。 個人で府大会優勝や全国上位入賞達成 各部の活動や取組の格差の是正 生徒会・委員会活動の計画的な指導の充実 清掃指導の徹底 図書・視聴覚教材の有効利用
	ボランティア等の体験活動を推進する。	関係機関や施設と連携し、活動の機会・場を設定する。 参加について、学校をあげて積極的に支援する。	B	B	B	
	部活動を活発化させる。	目標を明確に定め、その目標を達成させるための十分な計画を立てる。 生徒の能力を十分に伸ばす練習を工夫する。 保護者会等を開催し、部員の保護者との連携や協力を得る。 部員との対話を進め、退部者を少なくする対策を講じる。	B	B	B	
	生徒会活動等を活発化させる。	年間を通して、生徒会活動への効果的な指導・助言を行う。 校内美化活動への計画的・積極的な指導を行う。 図書館活動への計画的・積極的な指導を行う。	B	C	C	

評価領域	重点目標	具体的方策	総合評価			成果と課題
生徒指導	担任を中心として、分掌が相互に連携・協力し、生徒の実態を把握、指導を進めていく。	指導成果をあげるため、分掌間で常に共通認識をもつ。	B	A	B	現状に満足せず今後も継続的な指導が重要 朝の一斉指導等の充実により遅刻者を減少できた。 家庭訪問を重視し、適切な対応ができた 教育相談会議の一層の充実 担任・SC・家庭との連携が機能した事例あり。
		生活規律・基本的な生活習慣の確立に向け継続的な指導を行う。	A			
		遅刻者数を減少させるため、組織的・計画的に指導する。	A			
		生徒指導件数を減少させるため、組織的・計画的に指導する。	B			
		保護者との連携を密にし、学校の指導に対する理解を図る。	A			
	いじめ、不登校等の防止・改善のために、組織的・計画的な指導を行う。	生徒の実態を把握できる体制を確立させる。	B			
		教育相談機能を十分生かす取組を工夫する。	B			
		教育相談会議を充実させ、教職員の意識や対応等の徹底を図る。	B			
		家庭との連携を密にし、効果的な指導を推進する。	A			
		地域の関係機関(中学校)との連携を密にし、効果的な対応を行う。	B			
進路指導	全教職員の理解と協力のもと、組織的、計画的、継続的な指導をする。	入学時から、3年間を見通した指導を行う。	A	B	B	本年度も国公立合格10名以上を達成 今後は1年次からの意識付けがさらに重要 三年間の進路指導モデル案の作成 次年度の土曜日活用補習の具体化 教育課程変更に伴う進路情報の充実
		個に応じた指導を行う。	A			
		学年毎の進路目標の達成状況を常に点検する。	B			
		保護者や関係諸機関との連携を密にし、的確で効果的な進路指導を進める。	B			
		教科指導と結びついた有効な補習体制を築く。	B			
		適切な進路情報の収集と整理を行う。	B			
		本校教育活動の全ての面で、生徒にとって有効な進路指導となるよう指導を工夫する。	B			
人権教育	本府人権教育方針と「指導の重点」を踏まえた人権教育計画を作成し、解決すべき課題を明らかにして指導を進める。	生徒の理解や認識を把握しながら、同和問題解決の視点を明確にした学習を行う。	A	B	B	三年間を見通した指導計画の一層の充実 校区中学校の指導内容を把握し、指導計画を検討
		校種間の連携、関係諸機関や地域等との連携のもとに、実践を進める。	B			
		各学期に1～2回校内研修を行い、指導力の向上を図る。	B			
研究・研修	授業研究等を推進し、教科指導力の向上、生徒の学習意欲を高める研修を深める。	外部講師招聘などにより、研修の充実と工夫を図る。	B	B	B	外部講師活用など多様な制度の有効利用が必要 英語科・農業科で指導主事を招聘して公開授業実施 研修の精選と開催時間の工夫 中高研の機能化
		研究授業や公開授業を実施する。	B			
		専門教科の指導の充実が図れるよう、多様な研修を工夫する。	B			
		中高研や小中高研等を通じて、専門教科の指導の充実を図る。	B			
		健康教育等健康に関わる教育を計画的に進める。	B			
健康・安全 教育、施設・ 設備管理	健康・安全について意識を高める。	救急処置等安全に関わる教育を計画的に進める。	A	B	B	普通救命講習を2・3学年団で実施 避難訓練の一層の充実 定期点検の充実 消防署との連携による施設点検で大幅な改善実施
		防災教育等を計画的に進める。	B			
	施設・設備の点検を行い、安全管理を徹底する。	一般施設・設備及び防災施設・設備の日常点検・定期点検を実施する。	B			
		地域や関係機関との連携を密にする。	B			
文書・情報 管理	文書・情報を適切に管理する。	健康安全教育も含め、学校保健会議を充実させる。	B	B	B	啓発により回議に対する意識の向上が窺える。 成績処理・指導要録・調査書の電算化の推進 PTAとの連携で学校説明会や地域懇談会実施 レッツ夢体験等で小・中と連携した取組を展開 土曜親子木工教室等で貢献できた
		個人情報等を適切に保管・管理する体制を整える。	B			
		文書は適切に作成、起案、及び回議する。	A			
		成績処理のネットワーク化を進める。	B			
家庭・地域 社会との連 携	教育目標の達成を目指して、PTA・各種関係機関との連携、協力を進める。	家庭訪問等により、家庭と積極的に連携する。	A	A	A	PTAとの連携で学校説明会や地域懇談会実施 レッツ夢体験等で小・中と連携した取組を展開 土曜親子木工教室等で貢献できた
		地域社会・関係諸機関等の行事に参加するなど積極的に連携する。	A			
		開放講座をはじめ、社会教育を支援する。	A			
次年度へ向けた改善の方向性	学力の充実・向上による希望進路実現・土曜日活用。府立高校模試の積極活用と成績向上。シラバス等の点検・改善。校内研修と授業改善。学習習慣の確立。図書館教育推進 健康安全教育の充実・教育相談会議の充実、安全点検等の計画的実施、教職員の意識向上。生徒会活動・校内美化活動の指導充実。人権教育の充実 文武両道を目指した学習活動・部活動指導の充実とその成果の発信・広報活動の一層の推進 本校の今後のあり方の検討と具体化					